

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 先端産業課
 担当名: 次世代産業拠点整備担当
 内線: 3933 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B35	農大跡地活用等推進事業		一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令			宣言項目	08 稼ぐ力の向上	SDGsゴール	
					分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsターゲット	
1 事業の概要 鶴ヶ島ジャンクション周辺地域について、農大跡地を中心に先端産業・次世代産業などの成長産業を集積して経済の好循環をもたらす。			5 事業説明					
(1) 農大跡地活用推進事業 △30,007千円 事務経費の削減により生じた執行残の減額			(1) 事業内容 農大跡地について、先端産業・次世代産業などの成長産業を集積するため、南側産業用地の売却を進める。農大跡地周辺地域について、ロボット開発支援フィールド（仮称）やロボット開発イノベーションセンター（仮称）を整備する。					
(2) 農大跡地周辺地域活用推進事業 △2,360,195千円 用地取得に必要な手続きが整わなかったことによる関係経費の減額			(2) 事業計画 令和3年度 農大跡地：環境影響評価（事後調査）、成長産業の集積に向けた準備等 周辺地域：ロボット開発支援フィールド（仮称）整備（土地造成等実施設計、地質調査等） ロボット開発イノベーションセンター（仮称）整備（基本構想等策定） 令和4年度以降 農大跡地：環境影響評価（事後調査） 周辺地域：ロボット開発支援フィールド（仮称）（造成工事等） ロボット開発イノベーションセンター（仮称）整備（設計等）					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(3) 事業効果 先端産業・次世代産業などの成長産業の集積により、経済の好循環をもたらす。					
3 地方財政措置の状況			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地元鶴ヶ島市や周辺自治体等と連携して事業を進める。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6人=57,000千円			(5) 補正予算の概要 ア 農大跡地活用推進事業 入札差金により生じた執行残の減額 イ 農大跡地周辺地域活用推進事業 用地取得に必要な手続きが整わなかったことによる関係経費の減額					
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,390,202	△6	△2,390,196				0	641,716
現計額	3,031,918	126	3,031,792				0	